

各 位

共同コンピューターホールディングス株式会社

取締役社長

小林 勇 雄

(JASDAQ・コード'9685)

問い合わせ先

IR担当

福 岡 誠

(TEL : 0776-34-3512)

平成23年3月期通期(連結)業績予想の修正および繰延税金資産の取り崩しならびに特別損失の計上と平成23年3月期通期(単独)業績見込との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月5日に公表いたしました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、平成23年3月期において見込まれる繰延税金資産の取り崩しについても、併せてお知らせいたします。

なお、平成23年3月期(単独)の通期業績見込みについて、前年同期と比較して差異が生じることとなりましたので併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回予想(A)	3,100	20	80	30	5 90
今回修正(B)	3,211	52	7	286	56 27
増減額(B - A)	111	72	87	316	—
増減率	3.5%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,207	15	16	30	5 98

(2) 修正理由

連結の売上高につきましては、前回予想を確保できる見込みであります。なお、売上には海外子会社の清算に伴い不動産が売却されたことにより、売上124百万円(売上原価122百万円)が含まれております。

一方、営業損益につきましては、SEの稼働率の悪化や請負型の一部の案件について予想を上回る

原価の拡大などが影響し売上原価を押し上げる結果となり損失計上の見込みであります。

また、経常損益につきましても、技術者向けに教育を中心とした雇用調整助成金収入87百万円などがありました。売上原価の増加や有価証券の運用に係る損失15百万円により経常損失となる見込みであります。

更に、特別損益においては、その他有価証券(非上場株式)について減損処理を行い、これに伴う評価損82百万円の計上と長期滞留債権について貸倒損失を30百万円を計上しました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,211百万円、営業損失52百万円、経常損失7百万円となり、当期純損益は、それらの影響と繰延税金資産の一部取り崩しに伴う影響により286百万円の損失となる見込みであります。

繰延税金資産の取り崩し

当社は、税効果にかかわる会計基準に従い繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩すことといたしました。

この結果、平成23年3月期連結決算において、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額161百万円を計上しております。

2. 平成23年3月期(単独)業績見込みと前年同期との差異

(1) 通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	107	—	—	14	円 銭 2 80
当期見込み (B)	100	2	5	100	19 84
増減額 (B - A)	7	2	5	86	—
増減率	6.5%	—	—	—	—

(2) 差異の理由

連結同様、当社の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩すことといたしました。

この結果、平成23年3月期決算において、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額93百万円を計上しております。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表時現在の入手可能な情報に基づいた判断及び仮定を前提とした見通しであります。多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。